福岡市・オンライン活動案

# LV2-1　病院へ行こう

**目標：**楽しく交流する。学習者が自分のことを伝えられ、病院で受け付けができ、診察を受けられる。

**教材：**文化庁『つながる　ひろがる　にほんごでのくらし』https://tsunagarujp.bunka.go.jp/

レベル 2「シーン 8　病院に行こう」 https://tsunagarujp.bunka.go.jp/level02/b05

| 構成 | テーマ | 時間 | 活動内容 |
|---|---|---|---|
| はじめ | 病気、病院の経験（10 分間） | 0:00 | **自分のことを伝えよう**<br>学習者に「日本に来て病気になりましたか。」と尋ねる。<br>A さん：歯。歯の病気。<br>あなた：こどもはどうですか。<br>こどもはかぜ。せき。<br>病院に行きましたか。<br>学校、あとで、病院。<br>学習者の返答に合わせて、質問をしていきます。また、出てきたことばをチャットに記すと理解しやすくなります。 |
| | 病院の受付 10 分間） | 0:10 | **『つなひろ』で学ぼう**<br>レベル 2「シーン 8-1 かぜをひいたみたいです」<br>https://tsunagarujp.bunka.go.jp/level02/b05（約 120 秒間）<br>1 回目は、音がない状態で冒頭の30秒ほど見る（学習者に最初は「音がありません。」と伝えておく）。見た後で、「どんな場面ですか」と尋ね、その場面を確認する。2回目は、音を出して見る。見終わった後、学習者に「何を話していましたか。」と尋ねる。学習者が出したことばをチャットに記す。<br>学習者が聞き取れたことばをまず自由に出してもらいます。会話の全体を確認します。<br>C さん：もんしんひょう。ほけんしょう。<br>D さん：ねつをはかって。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | 0:20 | 3 回目は学習者の日本語能力に応じて字幕をつける。内容のポイントについて確認をする。学習者に「男の人はどうしましたか。」「熱は何度でしたか。」など尋ねる。<br>問診票、保険証、体温計の実物を準備しておくとよいです。学習者のことばをチャットに記していくと理解しやすくなります。 |
| **なか** | **診察の場面（10 分間）**<br><br>**診察が終わった場面（10 分間）** | 0:30<br><br>0:40 | **自分のことを伝えよう**<br>学習者に「みなさんは、お医者さんと何を話しましたか。」と尋ねる。<br>B さん：かぜ。はなみずです。<br>あなた：かぜをひきました。はなみずがでます。<br>学習者がうまく表現できないことに対し、フィードバックしていきます。チャットにも記すと理解しやすくなります。<br>続けて、「病院に行ったとき、薬をもらいましたか。」と尋ねる（薬の袋の実物を見せながら）。学習者がどんな病気の時、薬をもらったか確認する。<br>**『つなひろ』で学ぼう**<br>レベル 2「シーン 8-3 こちらがしょほうせんになります」<br>https://tsunagarujp.bunka.go.jp/level02/b05（約 80 秒間）<br>1回目は、音がない状態で冒頭の30秒ほど見る。見た後で、「どんな場面ですか」と尋ね、その場面を確認する。2回目は、音を出して見る。見終わった後、学習者に「何を話していましたか。」と尋ねる。学習者が出したことばをチャットに記す。<br>学習者が聞き取れたことばをまず自由に出してもらいます。会話の全体を確認します。<br>A さん：しんさつけん。<br>学習者が診察券を持っていたら見せてもらうと、分かりやすくなります。<br>3 回目は学習者の日本語能力に応じて字幕をつける。内容のポイントについて確認をする。「つぎ、病院に来る時、何を持って来ますか。」「処方箋はどこで使いますか」などと尋ねる。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| おわり | 日本と国の病院の違い（10分間）<br><br>健康のためにしていること（10分間） | 0:50<br><br>0:60 | 自分のことを伝えよう<br>学習者に「日本の病院と国の病院は何が違いますか。」と尋ねる。<br>Cさん：日本の病院は、きれい、大きい。大きな機械が多いです。医者の数が多いです。<br>学習者に「健康のために、何をしてますか。」と尋ねる。<br>Aさん：早寝早起き。野菜をたくさん食べます。水をたくさん飲みます。 |
| 語彙、文法の確認教材 | | | https://forms.gle/e8sceR7PpAR2ez7a6 |